

# 宮城小

(男子)

# 九州制す



## ハンドボール

### 九州親善大会

ハンドボールの第41回九州小学生親善大会第1日は26日、佐賀県のSAGAサンプライズパーク総合体育館で行われ、男子沖縄代表の宮城は決勝で霧島ジュニア(鹿児島)を23-17で破り

17年ぶり3度目の優勝を飾った。

宮城は決勝の前半、霧島の約170センチの長身エースに苦しめられたが、GK仲松海星を中心に全員守備でリズムをつかむと、11-8とリードして折り返した。後半はセンターでエースの豊平琉翔がマンツーマン

マークを受けたが、GKを下げてコートプレーヤーを入れる7人攻撃で対応。13人全員が出場して23-17と点差を6点に広げて九州の頂点をつかみ取った。

大会は九州8県で各チームの計16チームで争う予定だったが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため計8チームに縮小。27日は女子が行われ、県代表の当山が出場する。

▽1回戦  
宮城 12(4-3) 8 豊福(熊本)

▽決勝  
宮城 25(15-10) 19 北部キックス(長崎)

▽準決勝  
霧島ジュニア(鹿児島) 17 9

## 後半速攻作戦。ヒタリ

大城歩夢は身長160センチ。センターの豊平琉翔は大城を経由しながら両サイドの長身選手を巧みに使ってゲームを組み立てた。

後半に豊平が厳しいマークを受けたが、これは想定通り。逆に7人攻撃で数的優位をつかった。GKの仲松海星は好セーブでチームを盛り上げ、堅守は最後まで崩れなかった。

## 堅守 主導権つかむ

宮城は堅い守備から主導権をつかみ、後半に速攻を仕掛けて一気に引き離す必勝パターンを決勝でも発揮した。昨年全国4強に入った強豪の霧島を最後まで寄せ付けず、6点差で勝利。1989年、2003年に次いで3度目の優勝を登録13人全員でつかみ取った。

ライトバックで主将の糸数臈治とレフトバックの吉長大智、ポストの男子で17年ぶりに優勝した宮城＝佐賀県・SAGAサンプライズパーク総合体育館(提供)

豊平は「後半にギアを上げるのも通りのプレーができた。九州で優勝できると思わなかったのうれし」と17年ぶりの快挙を喜んだ。



# 当山小 (女子) 九州準V



## ハンド親善大会

ハンドボールの第41回九州小学生親善大会最終日は27日、佐賀県のSAGAサンライズパーク総合体育館で行われ、女子沖縄代表の当山が準優勝した。

当山は1回戦でHC春吉

## 「諦めずにできた」

「決勝は圧倒されたけど、最後まで諦めずにできたから悔いはない」。当山の太城百央主将は小学校最後の一番を終え、すがすがしく振り返った。

コロナ禍で各県予選1位だけが出場した今大会。ハンド優勝した女子当山は佐賀県・SAGAサンライズパーク総合体育館（提供）

（福岡）に10-7、準決勝で始良（鹿児島）に23-10で勝利。決勝はHC宇土（熊本）に5-23で敗れた。

【女子】

▽1回戦

当山 10 (6-3) HC春吉 (4-4) 7 (福岡)

▽準決勝

当山 23 (12-11) 始良 (鹿児島) (6-10) 4 (鹿)

▽決勝

HC宇土 (熊本) 23 (11-12) 2 (5) 当山 (熊本) 3 (5) 当山

ハンドボール王国沖縄の代表として持ち味の堅守速攻を存分に発揮し、決勝へと勝ち進んだ。

最後は、HC宇土のスピードに追い付けず5-23。それでも高良翔大監督は「守備が機能し、どんどん速攻に飛び出してくれた。この状況下で本当に頑張ってくれた」とねぎらった。